

叙勲

《春の叙勲》
旭日双光章
(地方自治功労)

令和3年春の叙勲と第36回危険業務従事者叙勲の受章者が発表され、仙北市からは次の方々を受章されました。心からお祝い申し上げます。
(※年齢は受章時を掲載)



田口喜義さん
(70歳 田沢湖生保内)

元仙北市議会議員。平成5年9月、田沢湖町議会議員に初当選。平成13年9月から17年9月まで議長を務め、市町村合併後は議会運営委員長などを歴任、平成26年4月までの20年7か月の長きにわたり、地方自治発展のために尽力されました。



大澤善樹さん
(67歳 角館町川原)

元大曲仙北広域市町村圏組合消防司令長。昭和47年4月、角館消防署に消防士として採用され、以後平成26年3月までの長きにわたり危険性が高い業務に従事。高度な知識と豊富な経験をもちに地域の安心・安全のために尽力されました。

《危険業務従事者叙勲》
瑞宝双光章
(消防功労)

安藤さんは、「角館行舎は、音の響きがよく聴きやすい場所だと思った。まあの色んな所で気軽に音楽にふれる機会が増えるとうれしい」と話しました。



3人の息のあった演奏が訪れた方々を魅了しました。

5月16日、角館行舎でOttoを楽しむ会(安藤満里代表)主催による「榊細工で生まれ変わった奇跡のピアノコンサート」が開催され、約60人の方々が訪れました。
コンサートで使用されたピアノは、昭和29年に神代村の小松小学校の子どもたちのために村とPTAで購入したもので、平成20年、神代小学校改築に伴い廃棄される予定でしたが、傷んだ表面に榊細工を施して生まれ変わった奇跡のピアノです。
この日は、秋田市の山崎圭子さんがピアノで「エリーゼのために」などを独奏後、同じく秋田市の藤原滋さんがファゴット、次に安藤さんがクラリネットそれぞれ加わり、「誰かが私を見つめてる」や「チャップリン・シネマ・ミュージック」などを演奏しました。最後に3人で「悲愴三重奏曲」を披露し、訪れた方々は華麗で優雅な演奏に聞き入っていました。

榊細工で生まれ変わった奇跡のピアノコンサート
華麗な音色が聴衆包む

栄光・表彰 ~輝くとき

この度、令和3年3月まで行政相談委員を務められた難波輝子さんに、総務大臣感謝状が秋田行政監視行政相談センターの安孫子成志所長から贈呈されました。難波さんは、平成13年に委嘱されて以来、20年にわたり公正・中立な立場から住民と行政のパイプ役として相談を受け付けてきました。



長年にわたり行政相談委員として多くの方に寄り添ってきた難波さん。

難波輝子さんに
総務大臣感謝状

この20年間で受け付けた相談件数は615件。難波さんは「解決したときには相談者からはがきにびっしりと書かれたお礼が届いた。ありがたうという言葉が何よりもうれしかった」と振り返ります。また、相談者によってはすぐに話し出すことができる人、なかなか話し出せない人、その相談内容も様々です。「自身から心を開いて話してもらえらるるよう、こちらからは聞き出さずとしない。天気の話など雑談から少しずつ心を開いてもらえらるるよう聞くことを心がけている」と相談者一人ひとりに寄り添った難波さん。これまで長らくご尽力いただいたことに感謝します。

生涯学習を身近に

生涯学習奨励員に委嘱状が交付されました

生涯学習奨励員は、地域住民の身近なところで学習活動を奨励・援助し、生涯学習の推進・充実を図ることを目的として委嘱しています。奨励員の皆さんは、各々の得意分野で公民館活動やサークル活動を通じて活躍しています。「どんな活動をしているのだろう」「体験してみたい」などご質問やご要望がありましたら、生涯学習課(☎43-3333)へご相談ください。
(敬称略 新||新任 再||再任)



2年間生涯学習奨励員として頑張ります。

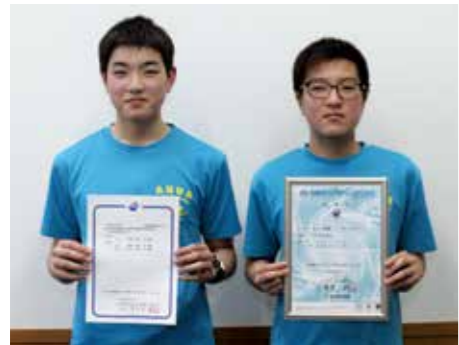
【生涯学習奨励員】

会長	赤川 和子	(角 館)	再
副会長	千葉 薫	(田沢湖)	再
副会長	新山 正雄	(西 木)	再
委員	小松 龍子	(田沢湖)	新
委員	柴田 いさ子	(田沢湖)	再
委員	高橋 幸雄	(田沢湖)	新
委員	草 薨 悟	(角 館)	再
委員	黒澤 美鈴	(角 館)	再
委員	館花 久子	(角 館)	再
委員	雲雀 秀人	(角 館)	再
委員	阿部 栄子	(西 木)	再
委員	伊藤 キヨ子	(西 木)	再
委員	門脇 トキヨ	(西 木)	再
委員	村上 新子	(西 木)	再

任期は令和3年4月1日から令和5年3月31日までとなっています。

全国JOC春季水泳競技大会・令和2年度秋田県水泳競技特別記録会
アクアスポーツ少年団が活躍

アクアスポーツ少年団に所属する木元晴樹さん(西明寺小6年)が、3月28日に開催された「第43回全国JOC(ジュニアオリンピックカップ)春季水泳競技大会」に出場しました。
本来であれば東京辰巳国際水泳場(東京都)で開催される予定でしたが、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、秋田県立総合プール(秋田市)を会場に競技を行いました。
木元さんは11歳から12歳の部100m背泳ぎに出場、全国標準記録を超えて11歳5年生の部で1分06秒28のタイムで全国第7位の好記録を収めました。
また、同日に行われた「令和2年度秋田県水泳競技特別記録会」に同団所属の菅原康太郎さん(角



好成績を取った木元さん(右)と菅原さん(左)。

館中1年)が出場、平泳ぎ50mで1位になりました。
4月30日、教育長に報告に訪れた木元さんは、今後の抱負について「今大会では予選会よりタイムを約5秒縮めることができましたので、次の試合も少しでもタイムを縮められるよう頑張りたい」と話しました。
菅原さんに今大会を振り返ってもらおうと「先生に教えてもらったことを意識して泳げたので1位を獲得することができた」と話しました。